

# 北海道胆振東部地震 厚真町追悼式

北海道で初めて震度7を観測した北海道胆振東部地震から4年を迎え、9月3日に令和4年北海道胆振東部地震厚真町追悼式が厚真町総合福祉センターで行われ、犠牲になった37人への哀悼の意がささげられました。

追悼式は、新型コロナウイルス感染症の影響で遺族と町内の来賓や関係者79人で行われました。参加者は、白菊やユリで飾られた祭壇に献花して犠牲者の冥福を祈り、将来に向けた歩みを誓いました。

追悼式終了後は、自由献花方式となり、大勢の町民が訪れて犠牲者に思いを寄せました。

一方、9月6日午前には胆振東部消防組合消防署厚真支署の消防団員約30人が昨年建立された慰霊碑前で黙とうし、正午の時報を合図に町職員も黙とうをささげました。



## 式辞・追悼の辞



**厚真町  
宮坂尚市朗 町長**

今でも信じがたい光景が  
眼に浮かびます。一方で、  
自分より他者を気にかける町  
民の姿に生きる者としての使命感  
や共に歩む者の信頼が芽生え、復旧事業を加速させました。町民が抱える不安、悩みは短期間では癒されません。明日への不安を軽減し、被災者に寄り添い、誰一人も取り残さない復旧・復興を目指してたゆまぬ努力を続けます。



**胆振総合振興局  
谷内浩史 局長**

お亡くなりになられた方々に哀悼の意をささげ、かけがえのないご家族やご親類を失われたご遺族の皆さまに心からお悔やみ申し上げます。厚真町をはじめとする被災地が、一日も早く復興を成し遂げ、被災された方々が住み慣れた町で安心して暮らせるよう、町や関係機関と一層の連携を図り、復旧から復興、その先の創生を見据えた取り組みを加速します。



**厚真町議会  
渡部孝樹 議長**

今を生きる私たちは、犠牲  
になられた方々の遺志に報  
いるため、9月6日を迎え  
るにあたり、あの震災に思い  
を巡らせながら犠牲になられた  
方々を追悼する気持ちや、防災・減災につなげていくべき教訓は、決して風化させず次世代に伝えていかなければなりません。町議会としても被災された方々の気持ちに寄り添い、復興を早期に成し遂げるため、全力で取り組みます。



**遺族代表  
中村清人さん**

突然の別れから4年の歳月が過ぎ、徐々に日常を取り戻しています。私たち兄弟、子どもたちも仲良く健康に過ごしています。父さんたちにもみせてあげたかった。貴方たちが当たり前のようにしてくれた不自由のない生活を今度は私たちの家族にできるよう努力します。